

議会だより



がんばる人インタビュー.....	2
議長 新年の挨拶.....	3
12月補正予算.....	4
原子力サミット・防災訓練.....	6
現地視察.....	7
常任委員会報告.....	8
議案一覧.....	9
一般質問.....	11
美浜町民レガッタ.....	16

がんばる人【シリーズ第4回】

「丹生酵房へしこ丸」の皆様

海からの風がへしこの熟成に旨味と深みを出すため
舟小屋で作る、民宿の女将4人の会。
左から畑 好子さん・仲塚友子さん
浜野香澄さん・新谷富子さん。

シリーズ
第4回
がんばる人

海風がへしこの旨味を深くする
民宿の女将4人が作る
地元の味



『丹生醸房 へしこ丸』



漬け込み液の製造



熟練の技でしっかり漬け込む



議会の課題
地場産業の育成
商品のブランド化



Q: 「へしこ」を作るきっかけは
A: 15年くらい前に、町の商工観光課の企画で、町の名物料理を学ぶ機会があり「へしこ」の作り方を希望して体験しました。民宿の女将3人が、それぞれの自宅の舟小屋で作り始めて、民宿のお客さんや知人に提供すると、「美味しい」と評判がよかったです。

3年後、1人若い人が加わってくれたので、道具を買いそろえて真空パックの機械も購入し、グループの名前やラベルのデザインも考えて、市場に販売できるようにになりました。民宿の女将4人で「丹生醸房へしこ丸」を立ち上げた次第です。

Q: 仕事の内容を教えてください
A: 10月から5月にかけて、週2日のペースで集まり、鯖を塩漬けにして、米ぬかに漬けて1年ほど熟成させて樽上げします。今日は560本の鯖の漬け込み

み作業を行いました。
Q: 4人で「丹生醸房へしこ丸」を立ち上げてよかったこと
A: 「へしこ丸」の作業のある日は、朝からやる気スイッチが入って「ワクワク」します。
それそれ町外や他県から丹生へ嫁いでいて、民宿の経営だけだったら、知り合う機会はありませんでした。

4人で楽しみながら作業を行うことで、「コミュニケーションも深まり、互いに支え合えることが幸せです。身体をよく動かすので健康にも恵まれました。
又食べてくれた人から「美味しかった」と言ってもらえることが、何よりも嬉しく生きがいです。

Q: 将来の目標はなんですか
A: 「へしこ丸」がメディアにも取り上げられたので、地域の味、地域の伝統的食文化を、若いお母さん達に継承していきたいです。



舟小屋で漬け込み潮風が熟成を抑える



新年明けましておめでとうございませう

美浜町議会議長 山口 和治

地域の魅力を生かし、「にぎわい」のあるまちづくりを目指して

新年明けましておめでとうございませう

美浜町の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで、新しい年をお健やかに迎えにいられたことを心からお喜び申し上げます。

美浜町議会は、昨年3月の任期満了に伴い、議員4名を新たに迎え、議会構成を改めました。新体制のもと、議会や議員としての活動を充実させ、資質の向上を図ることはもとより、町民の皆さまに寄り添った身近に感じる存在である町議会を目指しています。

新型コロナウイルス感染症は、未だに終息が見通せない中ではあります。旧年中は感染対策を行いながら、五木ひろしふるさとマラソンや夏フェスタ美浜、町民レガッタ等を3年ぶりに開催することができ、町に活気が戻りつつある1年となりました。

これからの美浜町は、人口減少・少子高齢化等の大きな課題が山積です。この厳しい社会情勢を乗り切るためには、町の魅力を最大限活かした、自主性・自立性のある政策が一層重要となります。また、コロナ禍の転換期を見据え、経済社会活動の再興に向けた取り組みを推進し、ウィズコロナ時代におけるまちづくりをしつかりと進めていくことが必要と考えます。

皆さまと一緒に、さまざまな町政の課題解決に向け、全力を尽くしてまいります。本年も町議会に対し変わらぬご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

新しい年が皆さまにとって、実り多き年となりますことを心よりご祈念致します。新年のご挨拶とさせていただきます。

議員報酬・議会改革プロジェクトチーム



河本 猛 (リーダー)



梅津隆久 (サブリーダー)



藤本 悟



崎元良栄



高橋 修



中牟田 春子



幸丈佑馬

議会DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進プロジェクトチーム



川畑忠之 (リーダー)



辻井雅之 (サブリーダー)



竹仲良廣



松下照幸



高橋 修



上道正二



兼田和雄

議会プロジェクトチーム発足

従来の常任委員会・特別委員会に加え

専門分野に特化したPT (プロジェクトチーム) 始動!!

5億475万6千円

(予算総額108億9,762万2千円 前年比102.6%)

もう

儲かるふくい型農業

総合支援事業



○ 農業ハウスの施設整備支援

1,617万8千円

農業基本計画に基づき水田農業の拡大、園芸産地の育成を図るために町内認定農業者等を対象として農業ハウスの施設整備を支援する。

(支援対象)

(株)ファイト

3連棟ハウス(ブドウ用) 5m×40m×3棟

(株)グランファーム

格納ハウス(農業機械用) 8m×20m×2棟

育苗ハウス(水稻・白ネギ用) 8m×30m×2棟

美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業

2億7,744万5千円

○ 賑わいゾーン整備支援

「道の駅/はまびより」の本年春の開業に向け施設購入及び施設備品の購入、開業イベント作業



NHK大河ドラマ「どうする家康」に向けて観光アピール

国吉城址史跡調査及び活用事業

北陸新幹線敦賀開業に向けて
観光アップデート

283万6千円

美浜町が誇る「続日本百名城」の佐柿国吉城の歴史的景観を保全し、史的価値を高めると共に観光集客を目指し地元住民との連携を図り、より一層の向上を計る

- ・遊歩道430mの整備
- ・石垣遺構の保全と雑木伐採及び枝打ち
- ・山城山頂部分のライトアップ
- ・観光パンフレットの作成

12月補正予算額

12月定例会一般会計補正予算額概要



物価高騰対策緊急支援

○ 福祉事業所等に対する補助

【町内福祉事業者の経営安定を図り、安定的な福祉サービスの確保】

介護サービス事業者 14 事業者
障害福祉サービス事業者 4 事業者

358万2千円

福祉サービス提供のため負担軽減支援

電気料金・燃料費（自動車用燃料・ボイラー用及びそれに類するもの）

補助金額：対象経費の価格高騰分（電気料金20%・燃料費10%）の1/2

補助申請受付 令和5年1月～2月

補助金支払 令和5年3月



○ 給食食材支援

【保育園・学校に対する給食食材・光熱費の保護者負担軽減対策】

保育園給食費等
高騰対策事業

467万円

学校給食費等
高騰対策事業

411万円

食材高騰による不足分（上昇分5%）支援

マイナンバーカード利用促進サービス

2月1日より

コンビニで各種証明書交付開始

178万2千円

交付手数料

マイナンバーカードを利用することでコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機（多機能端末機）を利用して各種証明書の交付を受けることができます。

	役場庁舎交付	コンビニ交付
戸籍謄本・抄本	450円	300円
住民票の写し	300円	150円
印鑑登録証明書	300円	150円
戸籍附表の写し	300円	150円
所得課税証明書	300円	150円

土・日・祝日 対応

6:30～23:00まで利用可能

全国どこの店舗でも利用可能

※令和7年3月31日まで上記の手数料減額



美浜町議会原子力 関連施設視察研修



第13回全国原子力発電所 立地議会サミット



全国原子力発電所立地議会サミット

10月27日から28日にかけて全国原子力発電所立地市町村議会議長会主催による第13回全国原子力発電所立地議会サミットが東京で開催されました。「2050年カーボンニュートラルと原子力」立地地域が目指すこれからの方向性」をテーマに5つの分科会に分かれ、それぞれの地域が抱える原子力の課題について活発な意見交換ができ、友好を深めることができました。

原子力防災訓練

11月4日から6日にかけて美浜3号機での重大事故を想定した国の原子力防災訓練が行なわれました。今回の訓練では嶺南地方を震源とする震度6弱の地震により、発電所の外部電源を喪失、その後3号機において全面緊急事態まで進展、放射性物質が施設外に放出される事態を想定した訓練でした。訓練には、美浜発電所から半径30km圏内七市町に加え、国や福井県、滋賀県、岐阜県自衛隊、消防、電力事業者等の関係組織機関が参加し、また避難計画の実効性等を検証することから住民200人が町外への広域避難、屋内退避訓練に参加しました。住民の安全・安心の確保に努力している国・県の体制に改めて安心感を得ることができました。現在、運転中の美浜3号機は40年超えプラントでも有り、事業者は安全最優先で安全・安心・安定運転を継続し原子力発電の必要性の理解向上に努めて頂きたいと思えます。



原子力防災訓練



美浜町が誘致を行った 企業の現状を視察

現地視察



ダイヤトレンド㈱ (大敷)
フリルレタス、結球レタスなどを生産、販売する屋内野菜工場。3年前からのコロナウイルス感染拡大で売上が40%~60%に減少、㈱ノーマンから親会社のダイヤトレンド㈱に経営委譲し巻返しを図っている。



㈱苗屋 (佐野)
業務用野菜苗の生産販売。契約農家や事業所への販売で、経営は順調に推移している。冬場の3か月間は休止状態で、新年早々から操業が始まる。



㈱エアグリーン (金山)
医薬品、化粧品などに入れる原材料を輸入しそれを小分け販売、一部製造を行っている。
経営は横ばい状態である。



アグリト㈱ (山上)
フリルレタス、低カリウムレタスなどを生産販売する屋内野菜工場。主力販売先は飲食店や加工用だが、百貨店等での小売りも行っている。経営は順調に進んでいる。今後も拡大を目指す。



この他、美浜町補助金支援対象ではないが、美浜町に進出して頂いた、関西電子ビーム㈱、エスアールエス㈱の視察も行った。この2社の経営は順調に推移していることを確認した。
(美浜町松原 松原産業団地)

常任委員会の動き

12月定例会は、予算決算常任委員会に議案4件、総務文教常任委員会に議案6件、産業厚生常任委員会に議案2件、陳情1件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



予算決算 常任委員会

議案第80号 令和4年度

美浜町一般会計補正予算

(第5号)

問

子育て世帯生活支援特別給付金の見積もりが130人から実質46人に減つた理由は何か。

回答

県から児童手当対象児童数の15%で計算する指示があったが、実績では46人であった。必要な世帯には行き渡っている。

問

はあとびあのカーテンが破れたままになっているが行政は把握しているのか。

回答

指定管理者の社会福祉協議会にもお願いしているが優先順位もあり時間がかかることもある。毎年修繕費を20万ほど計上しており高額の部分は予算計上して対応する。

問

庁舎改修基金の本年度分2億円だが具体的な構想はあるのか。

回答

メインになるのは外壁の改修工事である。30年間一度も改修したことのない屋上の防水工事と駐車場の部分的な補修、屋外駐車場のスペースを屋根付きにできないか計画している。

問

西郷健康ひろばの利用実績はどのようになっているのか。

回答

令和4年9月末の実績では屋内ゲートボール場で8393人、グラウンドゴルフ場で1205人であり、収入は屋内が35万9300円、屋外が29万1550円となっている。

問

国吉城址史跡調査及び活用事業の雑木の伐採だが、行政はどのようなイメージをしているのか。

回答

遺構保全と景観整備の観点で実施するもので遺構が判る範囲での雑木伐採。木をすべて切るのではなく城址保全を前提に次世代にも残していく工夫をする。

産業厚生 常任委員会

議案第90号 美浜町公の

施設の指定管理者の指定

の手續等に関する条例の

一部を改正する条例の制

定について

問

PFIに基づいて事業を行った場合は、指定管理者も公募によらず選定事業者を指定管理者として選定することになるのか。

回答

PFI法にのっとり事業認定を受けた業者は指定管理者候補として考えている。

議案第91号 美浜町道の

駅若狭美浜はまびよりの

設置及び管理に関する条

例の制定について

問

道の駅の交流スペース等の使用料が、二千円となっているが、SPCと協議して決めたのか。

回答

使用料については、役場で規定されており、屋内外

の貸出施設は1㎡1日当たりで今回上限金額を設定している。今後SPCと協議し、料金設定していく。

総務文教 常任委員会

議案第84号 美浜町印鑑

条例及び美浜町手数料条

例の一部を改正する条例

の制定について

問

コンビニで戸籍謄本・抄本や住民票などの交付が可能になる事に伴い手数料が役場窓口より半額になるとのことだが、その安全性や期間はどのようになっているのか。

回答

令和5年2月1日から3年間の特例措置でありその後は元に戻る。機器の通信障害が起こった場合は、住民基本台帳を管理している地方公共団体情報システム機構という管理法人が対応し、コピー機にデータが残ることはない。

10月臨時会 / 12月定例会 議案

10月の臨時会は議案2件と発議1件が提出され、12月定例会では議案1件と発議1件が最終日に提出されました。

第5回 美浜町議会臨時会 議案一覧

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第76号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美浜町一般会計補正予算（第4号））	—	可決	
議案第77号	美浜西小学校放射線防護対策工事請負契約について	—	可決	
発議第7号	原子力政策の明確化を求める意見書	—	採択	

第6回 美浜町議会定例会 議案一覧

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第78号	美浜町役場庁舎 非常用発電機設備設置工事請負契約について	—	可決	P10
議案第79号	美浜町保健福祉センター（はあとびあ）非常用発電機設備設置工事請負契約について	—	可決	P10
議案第80号	令和4年度美浜町一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決	P4・5・8・10
議案第81号	令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		可決	
議案第82号	令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）		可決	
議案第83号	令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		可決	
議案第84号	美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	P8・10
議案第85号	美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第86号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第87号	美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第88号	美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第89号	美浜町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について		可決	
議案第90号	美浜町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	P8・10
議案第91号	美浜町道の駅若狭美浜はまびよりの設置及び管理に関する条例の制定について		可決	P8・10
議案第92号	電池推進遊覧船安全航行システム構築業務請負契約について	—	可決	P10
陳情第2号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書	産業厚生	採択	P10
発議第8号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	—	可決	

※略称 <予算決算>……予算決算常任委員会 <総務文教>……総務文教常任委員会
<産業厚生>……産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対△欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	藤本	竹仲
発議第7号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第78号	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第79号	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第80号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第84号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○	○	○
議案第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○	○	○
議案第90号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第91号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
陳情第2号	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○
議案第92号	×	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
発議第8号	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○

討論概要

議案第78号 美浜町役場庁舎非常用発電機設備設置工事請負契約について

議案第79号 美浜町保健福祉センター（はあとびあ）非常用発電機設備設置工事請負契約について

【反対討論】
入札結果や全員協議会での議論を聞いて疑念を抱くことはあっても、それを払拭することができない。（河本議員）
議案第80号 令和4年度美浜町一般会計補正予算（第5号）

【反対討論】
道の駅の施設購入及び施設備品の購入、開業イベントの準備作業などを実施する経費2億7744万5千円については、これまで不要不急のハコモロであるとして一貫して反対している。（河本議員）
議案第84号 美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】
マイナンバーカードの携帯所持、使用のリスクが大きいことを考えれば、本議案を認めることはできない。（河本議員）
議案第90号 美浜町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】
PFI方式による公共施設などの整備、公募によらずPFI事業者を指定管理者に選定できる仕組みに反対して

いる。（河本議員）
議案第91号 美浜町道の駅若狭美浜はまびよりの設置及び管理に関する条例の制定について

【反対討論】
PFI方式による道の駅建設に反対してきているので、条例の制定についても必要ない。町民のにぎわい創出よりも事業者の利益に重点が置かれているように感じる。（河本議員）
議案第92号 電池推進遊覧船安全航行システム構築業務請負契約について

【反対討論】
電池推進遊覧船にかかわる事業予算には一貫して反対しているので、請負契約についても認めない。（河本議員）
陳情第2号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

【賛成討論】
町民の生活にかかわる「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書及び意見書（案）」を門前払いするような議会では、議員報酬の引き上げについて、町民理解は得られない。（河本議員）

意見書

発議第8号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書（概要）

日本の最低賃金は、最も高い東京都で時給1072円、本県は888円で184円もの格差がある。毎日8時間働いても月12万13万円の手取りにすぎず、とても自立して生活することはできない。

世界に目を向ければ、物価高騰のもとで最低賃金が大幅に引き上げられ、ドイツでは10月から12ユーロ（約1576円）、イギリスでは4月から9.5ポンド（約1473円）、フランスでは5月から10.85ユーロ（約1425円）になっている。日本でも最低賃金の抜本的な引き上げが必要である。

都道府県ごとに最低賃金が異なることで、若い労働者が都市部へ流出し、地域の労働力不足と地域経済の疲弊を招いている。早期に全国一律1500円を実現していくことが望まれる。

同時に、厳しい経営を強いられる中小零細企業への支援を抜本的に強化し、最低賃金を引き上げることが、労働者・国民の生活を底上げし購買力をあげることになり、地域の中小零細企業の営業も改善させる地域循環型経済の確立が可能になる。

以上の趣旨により、下記の項目の早期実現を求め、意見書を提出する。

記

- 1、政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円以上をめざすこと。
 - 2、政府は、最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
 - 3、政府は、最低賃金の引き上げが、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命とくらしを守ること。
- 令和4年12月19日

福井県美浜町議会

一般質問

質問、返答については質問者の文責で掲載しています。

原発の新造設・リプレースについて

問 私達は今「温暖化とエネルギー危機」に瀕しており、原発の有用性が広く認識されている。原発立地・ハイオニアとして「美浜における原発の新増設・リプレース」を強力に進めべきではないか。

町長 脱炭素とエネルギー危機、双方に対する原発の役割は大きい。町の振興と安全の確保を大前提に、町民の意見を聞きながら、新増設・リプレースを含めた国策の具現化のため、機動的な行政活動を進めたい。

原子力災害、避難先の見直しが必要

問 敦賀市の避難先は天理市、若狭町は三木市、小浜市は姫路市であるが、美浜町は近隣の、原発

のあるおおい町と豪雪地帯の大野市である。当町の避難先が今のままでは不十分だと思ふがどうか。

エネルギー政策課長 除雪は道路管理者・警察等の機関が一元化して対応する。車で

の避難が困難な場合は、自衛隊等が対応する。そして万が一、両市町への避難が困難な場合は国の判断で県や関西広域連合が受入調整することになるが、本町としては国や県に対し、更なる避難先の確保や避難道路の多重化を要望していく。

滋賀方面への避難道路の整備が急務

問 本町には「美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会」があり、その実現が悲願であるが、

そうした中、大震災被災地の議員から「とにかく避難が先決、そのためには道路の整備が不可欠」との強い言葉を聞いた。避難先と併せて、この道路の実現が重要だと思うが、同盟会会長の町長の決意をお聞きしたい。

町長 原子力政策を進める上で、安全確保が国の重要な責務であり、この道路の整備は喫緊の要請課題である。国・県・関係機関・滋賀県等に対し、強力に活動していきたい。

「HAMABERRY」の開業効果と今後の課題は？

問 残り1年余りとなった新幹線敦賀開業に向けて多くの事業が行われている。町民への広報の意味もあり、1月に開業したイチゴ農園の開業効果と今後の課題を聞きたい。

振興産業課長 営業期間である1月から6月19日の入園者は、計画を24%上回る7860人となった。内8割が町外者で、狙いの一つである交流人口拡大に貢献すると共に、販売額も目標を約80%上回る2500万円超となった。今後の課題は、イチゴの品質管理及び苗等の栽培管理の徹底と、2年目標1万人達成のため、町外・県外へのPRである。

「道の駅はまびより」の進捗状況と事業内容は？

問 令和5年3月に完成し「美浜暮らしブランド」に管理を委託する予定であるが、現在の進捗と今後の計画等を聞きたい。

建築土木課長 現在の進捗率は3割強で、令和5年3月末に完成し6月に開業予定である。地元産品直売所・カフェ・バー・レストラン・コワーキングスペース・レンタルオフィス・一時預り施設等ができ「町民を中心に多様な人々が集い、町外者には美浜の魅力を発信できる、新たなにぎわい創出の拠点」を目指している。セールスポイントは①若狭路ゲートウェイとして観光地を繋ぐ二次交通のハブ②イチゴ狩りができる体験型道の駅③美浜自慢の食材・加工品が楽しめる施設である。

「レイクセンター」の進捗状況と事業計画は？

問 建設工事は11月末に完成した。「三方五湖観光のネットワーク拠点・ゲートウェイ」をコンセプトに、遊覧船・レンタサイクル・カヤック・カヌー・軽食コーナー等を設ける。セールスポイントは①カーボンフリーの遊覧船②カヤック・カヌー等の湖上アクティビティ③湖の景観が堪能できるウッドデッキである。

「コミュニティバス改革」進捗は？

問 21年9月の私の一般質問に対し、「コミュニティバスのあり方を抜本的に検討・改革する」との答弁があったが、現状と見通しを聞きたい。

環境住民課長 今年度「地域公共交通会議」において、地域みんなを支えるコミュニティバスを目指して議論を重ね、令和4年内には「地域公共交通計画」を答申頂く。また令和5年6月から、道の駅をハブとした新デマンド交通の実証運行を行う。



たかはし おさむ 議員
高橋 修

一 般 質 問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、伺いました。



まつした まつひろ 議員
てるゆき 照幸

福島第一原発事故を

予測したのは誰か！

原発を批判してきた

人たちではないか！

答 大いに参考にさせて
頂いている

問

原発に批判的な人たちが福島原発事故を予測してきた。その声に耳を傾けずして、町民の安全はない！

町長

原子力の在り方については、様々な考え方があつた。しっかりと受け止め、検証・検討することで原子力の安全性を高めたい。

問

議会にも言えることだが、賛否両論を聞くことが大事。過去には経済産業省や推進の研究者の声だけを聞いて、「安全」の判断をしてきた。だから事故が起きる。

町長

安全安心の確保のために、しっかりと受け止めていただきたい。



問

15mを超える津波を 検討しながら対策を 怠った東電。それを 放置した国の監督官 庁。誰も実質的責任 を問われていない！

答 関係法令に基づき国が規制を行う。厳しい基準を設け、現場での検査・確認を通して安全の確保に努めている

問

責任を問われないことが事故につながる。「事故の責任」について明確にしておくことが事故再発防止の最善の策である。

町長

国民の生命・身体・財産を守ることは国の重大な責務である。エネルギー基本計画の中で国が関係法令に基づき責任を持って対処する。

意見

現行の制度の上で福島原発事故が起きていいる。福島原発事故の実態を知れば、避難訓練よりもっと力をを入れて事故防止に取り組まないといけないと思う。これが「私が福島原発事故で学んだこと」の一つである。今後一層力を入れて安全に寄与して頂きたい。

時代は省エネと再生 可能エネルギーに向 かっている！美浜町 もその方向へ軸足を 向けるべきである。

答 町のエネルギービジョンに基づき、再生エネを活用した町づくりを進めている。省エネについても、環境基本計画等に基づいて

意見

美浜町には様々なエネルギー資源があり、それらを組み合わせ、省エネや蓄電技術などの技術の成長、公益性の高い送電網に切り替えれば可能となる。そういう美浜町ブランドを目指して頂きたい。



町政を問う！

町長の一期4年間の成果について！

答 この4年間は、コロナ感染症対策の影響を受けた、町の産業や町民生活の支援対策に力を注ぎ、新幹線開業をはじめ、人口減少対策など将来のまちづくりにつながる施策を一步ずつ進めることができた。

①人口減少問題について

問 就任当時から人口減少時代が到来すると騒がれ、人口減少を食い止めるべき種々対策をしてきたが、どのような成果があったのか伺う。

町長 現在、町の人口動態を分析し、人口減少対策の柱として策定した、美浜町人口ビジョンに基づ



かわばた ただゆき 川畑 忠之 議員

②農林水産業について

き、子ども・子育て総合支援対策や住宅分譲地の整備など、若者や子育て世代の転入促進と転出抑制につながる施策を鋭意取り組んでいるところである。

問

第一次産業の発展は、町の発展につながるのには言うまでもなく、農業、林業に対しての対策は、どのように成果があったのか伺う。

町長

農業については、美浜町の農業基本計画

に基づき様々な振興策に取り組んでいる。その結果、農業人材育成拠点施設の開設等により新規就農者が育ち、イチゴやトマトなど先端的な大型ハウス園芸や、レモンなど新たな果樹栽培が始まっている。担い手の確保、先端的複合農業、儲かる農業への実現に向けて、その息吹と農業者のベクトル、それを強く感じているところである。

③美浜の原子力について

化計画の策定が終えるので、この計画に基づき、漁業の要となる漁港施設の維持保全に向けた事業を計画的に進めていく。このほか、ぶりやシジミなどのブランド化に向け、様々な取組を進めていく。美浜の美味しい水産物の潜在力は非常に高く感じており、さらなるブランド化への可能性を実感している。

問

電力需給の逼迫状況が起る世の中になり、電力の安定供給が心配されるようになった。よって、脱炭素効果の高い原子力選択が急務であり、再稼働、新增設・リプレースを進めなければならなくなっ

た。これまで美浜の原子力に携わり、どのように感じているのか、町長の考えを伺う。

町長

今般、我が国は、国民生活や経済活動を営む上で、不可欠な資源の1つであるエネルギー危機に直面し、その安定供給や安全保障の重要性について強く認識をさせられ、改めて美浜3号機の再稼働や美浜町が果たしてきた役割の大きさを実感しているところである。

これからも町民の御理解の下、国策に協力していく所存であるが、原子力政策の明確化はもとより、安心の最大限の確保、立地地域の持続的な振興に基づき原子力政策に取り組んでいく。

一 般 質 問

12月定例会では5人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



議員 河本 たくし 剛

物価高騰対策、エネルギー支援は福祉！
答 快適な町民生活をおくるひとつの手法

問 灯油だけではなく、エネルギー支援は福祉である。支援策を町長はどう考えるのか。

町長 エネルギーの支援による福祉の強化、まさしくそうだと思う。快適に町民生活を送っていただくための一つの手法だと理解をしている。原油価格の動向を把握しながら適当な時期に支援策を検討していきたい。



学校給食を無償化すべきだ！
答 無償化ではなく、食材高騰による給食費の不足分について負担軽減を図る

問 町民の中に給食の無償化を求める声は多い。物価高騰の中だからこそ、子育て支援やコロナ禍による家計の負担軽減などを目的に、学校給食の無償化を実現し、実施する意義は大きい。町長や教育長が、町の施策として掲げて実行する気があるかどうかである。

教育長 本町では給食費の無償化ではなく、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用して、食材の高騰による給食費の不足分については、子育て世帯の家計負担がこれ以上増えないようにして

学校給食を実施していく。学校給食を無償化することについては、やる気が感じられない。

「医療費・介護保険料の値上げ中止」美浜町から声をあげるべき！
答 組織力による強力な活動が現実で効果的

問 物価高騰の中で医療・介護という命に関わるところで負担が増えるのは、町民の暮らしを破壊する。

法律が負担増、サービス低下という悪い方向に改定されれば町民の負担が増える。その分、自治体の対策費も増加するので、国に対して「医療費・介護保険料の値上げを中止して、国の責任において負担軽減を行うべきだ」と美浜町からも声をあげていくべきだ。

町長 国における今後の議論を注視したい。組織力による強力な活動が現実で効果的と考えている。

美浜町は「福祉のまち」手話言語条例を制定すべきだ！
答 手話言語条例を制定することは意義のあるものと考えている

問 手話言語条例を制定した自治体は、2022年11月1日現在、全国34都道府県17区321市84町3村の計459自治体と、県内だけではなく全国に広がっている。美浜町は「福祉のまち」と言われるように、嶺南の4町の中でも、さらに小浜市よりも先に手話言語条例を制定すべきだ。

町長 手話は、ろう者の皆さんが物事を考え、コ

ミュニケーションを図り、お互いの気持ちを理解し合うための手段として、心豊かな社会生活を営むために大切に受け継がれてきた言語。また、障がいの有無にかかわらず、全ての町民が安心して暮らすことができる社会をつくるためには、障がいを持つ方がそれぞれの特性に応じたコミュニケーション手段を利用できるように、町や住民、事業者が積極的に取り組む必要がある。

手話に対する理解を深めるとともに、町民が共に支え合う地域社会の実現に向け、手話言語条例を制定することは意義のあるものと考えている。

障がいの特性に応じた分かりやすい情報提供や心のバリアフリー化について、町民の皆さんの理解を深めながら、条例制定に向けて今後、関係者と検討していく。

町政を問う！



梅津 隆久 議員

観光戦略課長

県・町の補助を受けて整備され、現状では5ルートあり新庄

問 町の特色として整備が進む「美浜トレイル」は滋賀県境の山々から日本海や琵琶湖の景色が見える素晴らしいトレッキングコースがあるが、町として整備がどのように進展しているのか、お伺いしたい。

町長

100年先の森づくりを見据え、「美浜町

答 プランの基本目標と基本施策である「地域全体で取り組む森づくり」で推進する。

美浜トレイル(登山道)整備状況について

区が維持管理している。新庄区には嶺南地域最大級のブナ林や天然杉林の群生地があり、地域の自然遺産として区と連携を図り情報発信に努めて行きたいと考えている。

問

一部コースを歩いたが足元の悪い箇所等、見受けられる。転倒事故防止対策は考えていないのか。

観光戦略課長

登山道ということでは多少は段差があるのは当然だと考えるが、関係者の皆様のご意見を伺いながら、どこまで整備が必要か検討していきたい。

「美浜コッココッコもくもくプロジェクト」について

答 美浜町森づくりプランの一つとして推進する。

問

このプロジェクトは循環的な木材利用を促進する取組を進めていると言われているがどのような展開をしているのか、お伺いします。

産業振興課長

森林の公益的機能を高め、自然災害に強い森づくりを目指すもので、公共施設の木造化・内装の木質化などに地元木材需要等の確保・創出を目指していきたい。本プロジェクトは短期的な取組で成果が得られるものではないと考える。

問

木は苗木から建築木材として利用できる計画を進めていくためには管理尺度を明確にしてプロジェクトの推進を図っていく必要はないのか。

産業振興課長

本計画は短期・中期・長期的な観点から優先順位を決め、森林

エネルギー施策と美浜1・2号機廃炉に伴う地域振興について

答 新しい廃炉ビジネスにチャレンジする意欲のある町内関係企業の参入を期待したい。

関係者と協議しながら「森づくりの担い手の確保と育成」も含めて進めていきたいと考える。

熱利用を目的とした木質バイオマスについて

答 薪ストーブとしての需要調査を行い木質利用計画を推進する。

問

熱利用を目的とした木質バイオマスの可能性を探るとして薪ストーブでの活用に関して具体的な計画と今後の進め方について説明願いたい。

産業振興課長

町民の方への年間需要調査を実施すると共に今年度、川際の

問

第五次美浜町総合振興計画・後期基本計画のエネルギー施策と地域振興として町は、原子力発電のバイオニアとしての誇りを持ち推進する施策に、廃炉ビジネスと新たな産業の創出を支援することとしているが、町では支援企業

危険木伐採で生じた木材の薪を自由に持ち帰って貰える「薪ステーション」設置を試験的に実践したいと考えている。

また、木質チップを原料とした堆肥の効果と需要を調査し林業から農業への新たな資源循環の可能性も検討していきたいと考える。

問

大野市役所では薪ストーブを導入し11月から3月下旬まで利用しているが当町では導入する考えはないのか。

産業振興課長

役場での導入にあたっては設備・施設の管理面から十分検討が必要と考える。

問

等が生まれてきているのか、お伺いします。

エネルギー政策課長

県では「嶺南Eコールドプロジェクト」を策定し研修会、情報交換を開催している。また、地元で廃炉ビジネス等で起業したいと言う声はない。

第35回

美浜町民レガッタ



10月16日

10月16日に、第35回美浜町民レガッタが県立久々子湖で3年ぶりに開催されました。3年前は町内外合わせて238クルーの参加がありましたが、今大会は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して町内75クルーのみの参加でした。

町民レガッタに参加して、これほど過酷で大変なスポーツはないと思いますが、ゴール下時の達成感は何特別なものだと思います。早くコロナがおさまり沢山の方が参加して、楽しめることを期待したいと思います。



歓喜!! 迷走!! 青空の下



編集後記



令和5年読者の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年6月には美浜駅前に道の駅が完成を予定しており、また、来年度中に新幹線敦賀開業します。このように、地域の活性化が期待され、議会では町内の状況を確認するため現地視察を積極的に行っていますが、まだまだ、すべてを把握できていません。更なる議会へのご意見、ご批判、ご希望をお寄せいただきますよう宜しくお願い致します。

(竹仲記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄
川畑 忠之・河本 猛
梅津 隆久